

# 『俺流に読む常陸風土記Ⅲ』

## —筑波郡と信太郡—

宿を求める神祖に、富士山は新嘗の物忌みを理由に断った。次に訪れた筑波山は歓待したため、一年中雪が積もる富士山に対し、筑波山は人々が集うという「富士筑波伝説」がある。

常陸国風土記は、国司が古老から聴取したことを郡ごとにまとめたものです。今回は筑波郡の「富士筑波伝説」をはじめ、信太郡の東海道常陸路の入口にあたる「榎浦の津」などを「美麻貴(崇神)天皇の時代、東国の荒ぶる賊を討たん」の一説をもとに、俺流に読み解く常陸国風土記をお話しいたします。

▼日 時:令和 **5**年**8**月**26**日(**土**) 午後1時30分～3時

▼会 場:龍ヶ崎市歴史民俗資料館 多目的室

▼講 師:須藤 研 氏(東京大学生産技術研究所名誉教授)

▼定 員:30名(定員になり次第締め切ります。)

▼申込方法:8月11日(金)午前10時から電話及び資料館窓口で受付を開始します。

▼申込・問合せ先:**龍ヶ崎市歴史民俗資料館**

▼休館日:月曜日

〒301-0004 茨城県龍ヶ崎市馴馬町2488 TEL0297-64-6227

主催:龍ヶ崎市教育委員会

